

飯塚青年会議所でともに見つける二市一町の更なる魅力

THE VOICE

IIZUKA JC NEWS vol.70
2025 JANUARY

Vol.70



TOPICS

2024年度活動報告
[嘉麻市／桂川町／アカデミー／ビジョナリー]
2025年度理事長所信
2025年度委員会編成

Action!
-仲間と共に-

2024年度 第71代理事長

理事長総括

2024年度を振り返り、一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)は、「飯塚JCらしさ」を保ちながら地域と共に歩み、新たな挑戦に向かう強い意欲を示しました。掲げた所信に基づき各施策を実行してきた1年は、多くの学びと成果をもたらした。地域社会と未来への貢献がより一層深まりました。この1年の活動を総括し、飯塚JCの総評を述べます。

まず、「自らを律して未来を変えるチャレンジ精神」を掲げ、メンバーが自己成長の意義を再認識する機会を創出しました。自身の「なぜ」を問い直すことにより、各目的の活動や運動に対するモチベーションが向上し、地域社会に対する貢献意識が一層強化されました。青年期にしかできない挑戦に果敢に立ち向かう姿勢は、個人の成長のみならず、JC全体の団結力と未来への可能性をも強化しました。

また、「CHALLENGE・4・VISION STEP ONE」の実践として、地域のステークホルダーと共に「まちの5ヵ年ビジョン」を策定した2023年度から2024年度にかけて、具体的なアクションを通じて地域に共感の輪を広げることができました。特に、地域での子ども育成と笑顔あふれる街づくりを旨とした「こどもはここのまちの未来だ!」宣言事業は、多くの関係者の協力を得ながらビジョンの共有と実現に向けた歩みを進めることができ、地域社会における飯塚JCの価値を再確認して頂けたと確信しています。

さらに、「JCだからこそできる例会の再構築も大きな成果の一つでした。テーマをビジネスと会員開発に絞り、メンバーシップを強化するプログラムを提供しました。特に、JCのスケールメリットを活かした例会やポジティブな会員開発活動は、多くのメンバーにとって価値ある学びと成長の場となり、飯塚JCの魅力を再認識する機会となりました。

「IIZUKA拡大方式」の確立も重要な一歩でした。適正な人数や拡大スケジュールを模索し、飯塚JCの理念

FURADA RYOSUKE



深田 良介

一般社団法人飯塚青年会議所
2024年度 第71代理事長

事業計画

- CHALLENGE・4・VISION STEP ONE事業の企画・実施
- JCだからこそできる例会の企画・運営
- 「IIZUKA 拡大方式」の確立
- アカデミーメンバー(新入会員)への理念浸透、飯塚未来創造事業の企画・実施
- 嘉麻市の魅力発信事業の企画・実施
- 持続可能な桂川町の創造事業の企画・実施
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の運営
- 台東国際青年商會との継続的な国際交流
- 飯塚JCの魅力を最大限に発信する常時広報活動
- 飯塚JC 全体で取り組む会員拡大
- 飯塚JC 全体で取り組む山笠運営

を確実に伝える人会オリエンテーションを再構築しました。これにより、持続可能な会員拡大の基盤が整い、将来のJC活動に向けた財産を築くことができました。新入会員が安心して学べる環境の整備とリーダーシップ育成もアカデミーメンバーへの理念浸透に大いに貢献しました。

嘉麻市の魅力発信では、嘉麻市をはじめとする様々な団体と連携し、嘉麻市の観光振興を推進する「Kama Nature attractive」を「嘉麻の魅力」を展開しました。アドベンチャーリズムを通じて、外部の視点から嘉麻市の魅力を発掘し、地域内外へ発信する機会を高めることができました。人口減少問題へのアプローチや、自然をいかした地域の魅力発信は、行政や他団体との連携によって地域全体を巻き込んだ取り組みとして成果を上げています。

持続可能な桂川町の創造に向けては、桂川町教育委員会、桂川中学校、王塚古墳実行委員会と連携し、シビックプライドを育む「ふるさと桂川プロジェクト」を桂川町の力でいっつも桂川町に「を」展開しました。これにより、地域への愛着を持つ若者の成長を促し、持続可能なまちづくりを実現する活動が展開できたことを誇りに思います。また、連携して頂いた方々や地域の方々から多大な評価を頂きました。

最後に、70年の歴史を振り返りながら、飯塚JCは71年目の新たな一歩を踏み出しました。メンバー一人ひとりが「JC」としての意義を再認識し、飯塚JCの未来を支える土台づくりを進めました。地域や仲間と共に成長する姿勢は、多くの人々に勇気と感動を与え、飯塚JCの存在意義を地域に深く刻みました。

「幸せな春が咲きますように」との願いを込め、この1年の活動が来年以降も引き継がれ、より良い地域社会の創造に貢献することを心より願っています。

ACTIVITY REPORT

2024年度委員会活動報告

嘉麻の魅力発信委員会



REPORT 01



委員長 笠置 一星
前笠置建工 2020年4月入会

嘉麻の魅力発信委員会の委員長の抱いを受けてから、嘉麻市についてたくさん調べていくなかで、恥ずかしながら嘉麻市の魅力的な部分や行っている取り組みについてまったく知らないことに気づきました。

そこで、様々な場所にヒアリングに行ったり、実際に嘉麻市の自然の魅力委員会メンバーと体験してきました。また、本年度日本青年会議所地域活性化会議に出向させて頂き、嘉麻市と同じような境遇の地域にスポットを当て、観光振興を推進していく取り組みを勉強させて頂き、その中でアドベンチャーリズムという観光政策を知りました。

た。委員会メンバーや地域内のパートナーの方と共に、嘉麻市の自然の魅力を活かしたインバウンド向けのプランを考え、事業を実施することができました。



REPORT 02



委員長 高田 健太郎
たかた呉服店 2019年11月入会

今年度、サステイナブル桂川創造委員会では、将来、桂川町のあらゆる課題を解決していく若者を増やすために、中学生のシビックプライド（IIまちを好きだけでなく、よりよくしたいと思う気持ち）を育む事業をおこないました。桂川中学校3年生の総合の授業時間を使って、「王塚古墳に普段から人が来るためには？」を題材として、課題解決をおこないました。

として、10月の王塚古墳祭りにブースを出展し、活動の過程及び解決物の紹介を中学生自らが来場者に説明しました。2日間で500名を越える方に来場して頂くことができました。最後に、成功体験の締めくくりに、振り返りの会として、第3者からの評価を得る機会を設けました。

サステイナブル桂川創造委員会

未来創造委員会



REPORT 03



委員長 春口 真子
Riv.hair 2024年4月入会

本年度、未来創造委員会事業ではメンバーとメンバーの家族との交流会というところで、レジャー交流、BQ懇親会を行いました。今年入会したアカデミーメンバーが中心となり事業構築をしていきました。事業当日、アカデミーメンバーは積極的に交流を図り、現役メンバーからアカデミーメンバーにJCの経験、体験をお話してもらうことで次年度以降の活動意欲に繋がる事業となりました。

2023-24 トライ・フォース・ビジョン TRY-4-VISION



地域でこどもを育てスマイリーあふれるまち

こどもはこのまちの未来だ!

2023年、飯塚青年会議所は創立70周年という節目を迎えました。この記念すべき年に、私たちはこれからのこの地域の未来を真剣に考え抜く為、地域のステークホルダーの皆さまと共に、ビジョナリーシティブイジョンを立ち上げました。そして、次の5年を見据えた中期ビジョン「TRY-4-VISION」を策定いたしました。2024年、そのビジョンの最初の一步として、「地域でこどもを育て、スマイリーあふれるまち」の実現に向け、取り組み始めました。なぜこどもなのか。それは、こどもたちがこの地域の未来そのものであり、彼らが笑顔で成長できる環境こそが、このまち全体の明るい未来を作り出すと確信しているからです。



この活動の基盤となった「ビジョナリーシティブイジョン」には、子育て世代、元教員、企業関係者など、実に多彩なステークホルダーの方々が加わってくださいました。会議では、「まち」を主語とし、地域全体を舞台にした事業を描くことを徹底しました。「私たちが何をやるか」ではなく、「まち全体でどう未来を作るか」という視点が軸です。市民、行政、企業それぞれの立場から見える景色、できることを繋ぎ合わせ、議論を重ねました。その結果、単なる構想にとどまらない、共感に基づく本気のプロジェクトがスタートしました。

こどもは このまちの 未来だ

宣言

飯塚青年会議所がこの地域に希望を灯し、未来を作り続ける存在でありたいと考えています。この挑戦に、どうか引き続きご期待ください。そして、共に歩んでいきましょう。明るい豊かなスマイリーあふれるまちの実現に向けて。

専務理事
(2024年度担当)
小林 奈々





特に2024年は、産学官民連携をキーワードに、行政だけでなく企業とも手を取り合い、これまでない規模で共創のまちづくりを目指しました。こうした連携の中で策定したのが、「こどもはこのまちの未来だ！宣言」です。この宣言は、地域の未来を託す子どもたちを中心に据えた、新しいまちづくりを目指すものです。そのキックオフとして5月にイベントを開催しました。そこでは2市1町（飯塚市、嘉麻市、桂川町）と飯塚青年会議所が連携協定を締結し、「行政とJC」が一体となって、このまちの未来を切り開いていく」という強い決意を示しました。このように2市1町が連携して広域的な取り組みを行うことは県からも高く評価され、注目を集めています。

キックオフイベントで行われた「こどもはこのまちの未来だ！共同宣言」には、12名の方々に登壇して頂きました。それぞれの方に具体的なアクションと熱い想いを宣言して頂きました。この瞬間、私たちは確信しました。この取り組みは単なる一年限りの事業では終わらない。中長期的にまちの中で自走し成長していくものになるだろう、と。



また、ビジョナリーシティこども会議を開催しました。この会議は、地域のこどもたち自身がまちの現状と未来について語り合う場です。そこで生まれたこどもたちの言葉には、大人では思いつかないような驚きと希望に満ちた発想が詰まっています。「このまちにこんなものがあつたらいい」「これはいい」「その声私たちが大人にとって未来をつくるための大切な道標となりました。そして、これらの声を行政に届け、2市1町が策定する「こども計画」に反映して頂くこととなっております。こどもたちの声や想いが、地域の政策となり、未来へと繋がっていく。そんな瞬間に立ち会えたことは、私たちにとても何よりの誇りです。



この取り組みを通じて、このまちは変われる、と確信いたしました。地域全体でこどもたちを育むという大きな目標のもと、市民、企業、行政が一つとなり、互いの力を最大限に発揮することで、これまでない未来が開けるはず。2025年度には、新たなビジョン。若者と地域のつながりをテーマに、さらに前進してまいります。こどもたちが成長し、若者たちが地域に根を張り未来を創造していく姿を描きながら、私たちは全力でこの活動を通じてまいります。





Action!

-仲間と共に-

一般社団法人飯塚青年会議所
2025年度 第72代 理事長

小林 奈々

NANA KOBAYASHI

事業計画

- JCの魅力向上例会の企画・実施
- JCの魅力や価値を伝える
伝道師育成事業の企画・実施
- アカデミー会員(新入会員)による
“若者と地域のつながり”事業の企画・
実施時代に即した組織運営・総会運営
- 台東国際青年商會との継続的な国際交流
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の運営
- 飯塚JC全体で取り組む会員拡大
- 飯塚JC全体で取り組む山笠運営

はじめに

今から10年前、当時29歳だった私は青年経済人としても、一人の人間としてもまだまだ未熟でありました。そんな私を、一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)は10年という時間の中で、歴史ある飯塚JCの理事長という重責ある立場にまで育ててくれました。この可能性ある飯塚JCという唯一無二の団体を更にアップデートさせ次代に紡いでまいります。これまで先輩諸氏が紡いでこられた71年という輝く歴史に深く感謝し、志を同じうする仲間と共にこの地域を想い、人を想い、英知と勇氣と情熱をもって“明るい豊かな社会の実現”に向け全身全霊を捧げ邁進してまいります。

自らを超える行動力“Action!”

皆様は日々アクションを起こしていますか。物質的な豊かさに埋もれどこか行動力を失ってはいませんか。もしくは誰かがやってくると当事者意識を失ってはいませんか。

かく言う私もJCで“行動力”を身に付けた一人です。入会当初の私は指示待ち人間。言われたことをこなす受動的な人間でした。言われたことを完璧にこなすことも役割としては必要でしょう。しかしそれだけでは、JCI Missionにある“社会により良い変化をもたらす”ことや“リーダーシップの開発”においては不十分です。ではなぜアクションを起こすようになったのか。それは意識に変化が起きたからです。自問自答を繰り返し、なぜJCに入会し、活動を続け、何を身に付け、どのような人間になり、どう生きたいのか。そのことが明確になればなるほど自らを突き動かしアクションを起こし、経験をすることで自らの成長を楽しみ、稼業に家庭に社会に貢献したいと力強く思えるようになっていったのです。ただ待っているのは勿体ない。

アクションを起こした先には新たな知識・出会い・経験・発見など様々なものがあります。それを繰り返すうちに習慣化され、率先して行動する能動的な人間へと生まれ変わることが出来ます。そして自ら未来を切り拓いていくことができます。自分自身で動いて得た経験は、きっと人生観を変えるほどの成長を与えてくれます。そういったことを経験できる機会がJCにはたくさん転がっています。果敢にチャレンジしアクションを起こすことで新たな世界をどんどん広げましょう。青年の若い力で、自らを超える行動力で、この地域を、そして未来を私たちの力で切り拓いていきましょう!誇れる未来は私たちが創るのです。

JCの魅力向上例会

飯塚JCの魅力の一つに、人口数における会員数が他LOMと比較して上位にあることがあげられます。このことは、毎月行われ飯塚JC全会員が一堂に会する例会においても素晴らしい魅力であると私は強く思います。

しかし、ここ近年の例会出席率の低下を危惧しています。それには様々な理由があると考えます。コロナ禍を経ての人の行動変容、JCでのリーダー経験不足、周知不足等。ただ、先述した通り飯塚JCには他LOMにも誇れる多くの会員が所属しているのです。この魅力を多くの会員に再認識していただく必要があると考えます。非対面での開催も可能なこの時代に、あえて対面での開催をすることで、人に触れ会員同士の価値観を共有し人として成長することができます。それはアクションを起こした人にだけ与えられる産物です。毎月行われる例会も積極的に参加し自ら成長するチャンスと捉えアクションを起こしてください。

その中で、例会委員会には工夫を凝らした動員の手法にも新たな挑戦をしていただきます。それをやるのは例会委員会の職務ではないといった意見もあると思います。しかし、例会委員会には企画した事業を自ら伝え、“人の意識を変え行動を変える”ことを身に付けることで更なる成長ができると考えます。

そして多くのメンバーで行うアワーでは交流をメインに行います。会員同士の交流を図り、様々な会員と触れ合うことで新たな出会いや知識を得ることができます。そこで得たものが自らの財産となり、自らを磨き高めてくれるのです。人は人によって磨かれる。様々な会員と出会い価値観に触れることで自らを突き動かしいきましょう!会員同士の交流が会員の成長と発展の機会になることをお約束いたします。

さて、JCの魅力とは何でしょうか。様々な魅力の中で、JCは人で成り立つ団体である以上、JCで成長した魅力的なJAYCEEの存在はその会を更に魅力あるものにしていきます。そこでJAYCEEとしての会員開発にも取り組めます。魅力的なJAYCEEの存在で更にこの会を魅力的にしていきたいと思います。会員交流と会員開発を両輪にJCの魅力向上例会を展開してまいります。

JCの魅力や価値を伝える伝道師による理念共感型拡大

JC事業の1丁目1番地とも言われる会員拡大ですが、現状は飯塚JC全体で取り組む会員拡大活動には至っていません。しかし、既に入会している会員同士の様々な経験知を融合することが出来れば会員拡大活動が更に加速するものと考えます。会員拡大委員会には会員拡大活動と共に会員の拡大意識醸成に努めていただきます。

私たちは日々、“修練・奉仕・友情”のJC三信条に基づいて活動しています。私はこの行動綱領こそがJCが魅力的な団体であり、JCの価値を創り上げている礎と考えています。会員が集まって自己研鑽をし、その磨き上げた力を仲間と共に地域社会に奉仕する。この活動をJCに入会することで出会えた仲間と共にやっているのです。

会員同士でJCの魅力や語りLOMの夢を語りましょう。そして夢を形にするために共にアクションを起こすことができれば、飯塚JC全体で取り組む会員拡大も実現できると確信いたします。そこで、会員一人ひとりがJCの魅力や価値を今一度考え、時に他人の考えを知ることで更に価値を理解し、情熱を持ってアクションを起こす伝道師へと導く事業を構築いたします。私たちが会員拡大をする目的は、ただ単に会員数を増やすことではありません。地域のリーダーを増やし、この地域を“明るい豊かな社会”にするためです。このことを会員一人ひとりが再認識しなくてはなりません。JC運動を最大化するためにも、共にアクションを起こす仲間を増やし地域社会に大きなインパクトを与えましょう。そうすることで会員拡大活動が好循環になると確信いたします。

Dearアカデミーメンバー(新入会員)

ようこそ飯塚JCへ。門戸を叩いてくれたアカデミーメンバーに心から感謝の意を持って迎えたいと思います。10年前、私はJC活動に数多く携わることでJCへの理解が少しずつ増していったことを覚えています。まずは、JCの本質を学び知ることよりも一人でも多くの会員と触れ合うことがとても重要だと考えます。そこで、JC活動や様々な会員と触れ合うことのできる場を積極的に設け、JCでの経験知を増やすきっかけをつくりたいです。時にグループや委員会の垣根を超えることでそれぞれに相乗効果を生み出し、新たなエッセンスを加えた運営を行います。

2025年はTRY・4・VISION(中期ビジョン)の2年目を迎えます。ビジョンの活動においては主語を「まち」にすることで、この地域の方々の共感を得ることができています。また、JCだけで会議を行うのではなく事業構築段階からステークホルダーの方々との会議を重ねることで、既にある共感と事業展開を行うことができるという点で事業に広がりを持たせることができていると考えています。2025年もこの仕組みと、またそれに加えてアカデミーメンバーのフレッシュな発想をもとに中期ビジョンの一つである“若者と地域のつながり”事業を展開します。

このまちは年間3,000~4,000人もの大学生が住み暮らしているにも関わらず、大半の学生が地域との関わりを持たずに出て行ってしまっている現状があります。多くの自治体が人口減少を叫ぶ中で、このまちに住む学生が地域との繋がりを持たないまま他都市に流出してしまっているのは非常にもったいない話です。ビジョン実現を目指した運動を展開し、これまで抱えたまちの課題を解決する取り組みを若者と共に生み出していきたいです。事業を通じてアクションを起こし地域を変える経験を経たアカデミーメンバーは、魅力的なJAYCEEとして更にこの地域から求められるリーダーへと成長していることでしよう。

地域を巻き込んだ台東国際青年商會との国際交流

我々飯塚JCは1975年に台東国際青年商會と友好JCの締結を行って以降、長きに渡り交流を続けています。昨今の世の中の動向を見ても国際的な動きは加速し、インバウンドや小学校での外国語活動の導入、外国人労働者の雇用など身の回りにおいても国際的視点は欠かせないものとなっています。これからは益々グローバル化は進んでいくでしょう。そんな中先に申し上げた通り、先輩諸氏のご尽力のおかげで我々飯塚JCは台湾との繋がりをすでに有しています。今一度先輩諸氏の皆様が生きてくださった国際の繋がりに感謝し、改めてこの歴史を紐解き国際的繋がりの意義に触れてまいります。これまでは相互間の限定的な交流に留まることが多かった交流事業をアップデートし、国際的ネットワークの価値を見出し、地域に根差した事業を展開することで、国際理解と相互理解を推進し地域社会の発展に寄与することができると思えます。

最後に

「卒業してからがJC」
これはシニアの先輩方とお話しをする時によく聞く言葉です。初めて聞いた時、私はその意味が分かりませんでした。現役時代は独自の価値観や思いを持ち活動していたであろう、それぞれ年代も職業も様々な先輩方。今私はこのように理解しています。

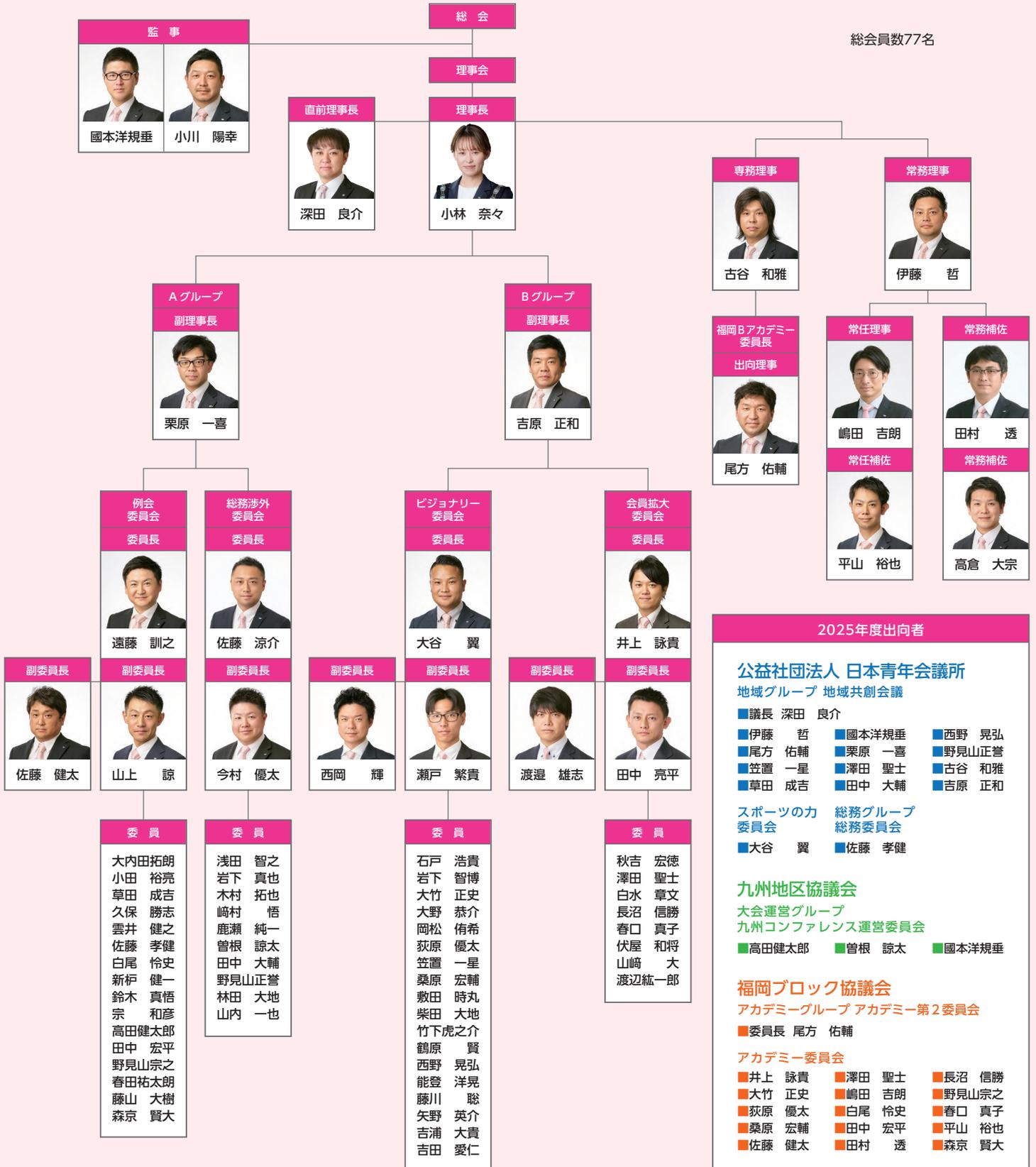
“JCで築き上げているその日々は、卒業後のあなたをきっと助けてくれる財産になる”と。人生は常に選択の連続。なぜその選択をしたのか、その動機(Why)を自問自答し続けてほしい。そうすることで、自らの選択に価値を見出し、自らを律し、アクションを起こすことでこの地域を変えるリーダーになれると信じています。

今、JC活動をしていることにも必ず理由があるはず。自らの想いに耳を傾け会員一人ひとりが自己実現を果たすことで“明るい豊かな社会の実現”に繋がる、そう確信いたします。JCで得た経験はあなたの一生の財産になるでしょう。アクションを起こした先のまだ見ぬ自分に向けて“Action!”仲間と共に。

ORGANIZATIONAL CHART

2025年度組織図

総会員数77名



COMMITTEE MEMBERS

2025年度 委員会メンバー

REIKAI COMMITTEE

例会委員会

委員長
遠藤 訓之

親和電設工業(株)
2014年8月入会



大内田拓朗

大内田産業(株)
2023年8月入会



小田 裕亮

(有)明豊舗道
2017年12月入会



草田 成吉

株式会社
ホールディングス
2020年4月入会



久保 勝志

飯塚信用金庫
福岡支店
2018年4月入会



雲井 健之

台所 クモイ三十五
2023年7月入会



佐藤 孝健

株式会社 RC
2023年3月入会



白尾 怜史

大野商事(有)
2024年7月入会



新戸 健一

メットライフ
生命保険(株)
2013年8月入会



鈴木 真悟

株式会社
2021年11月入会



宗 和彦

やしま整骨院
2011年4月入会



高田健太郎

たかた呉服店
2019年11月入会



田中 宏平

田中空調設備
2024年7月入会



野見山宗之

株式会社
2024年11月入会



春田祐太郎

株式会社
2019年4月入会



藤山 大樹

BAR SHIMAUMA
2023年7月入会



森京 賢大

(有)エム・ライン
2024年6月入会



副委員長

山上 諒

株式会社
2021年5月入会



副委員長

佐藤 健太

株式会社
2023年12月入会

アクションプラン
年間フレーム



SOMU SYOGAI COMMITTEE

総務渉外 委員会



浅田 智之

ダイワ印刷(株)
2012年7月入会



岩下 真也

株式会社
2022年7月入会



木村 拓也

T.K Garage
2022年11月入会



崎村 悟

ふみな工業(株)
2019年7月入会



鹿瀬 純一

株式会社
2021年6月入会



曾根 諒太

福岡県議会議員
江藤秀之事務所
2021年8月入会



田中 大輔

株式会社
2021年10月入会



野見山正誉

株式会社
2023年6月入会



林田 大地

株式会社
2023年3月入会



山内 一也

(有)ネットワーク
2021年11月入会

委員長

佐藤 涼介

(有)佐藤商店
2022年1月入会



副委員長

今村 優太

(有)やしま不動産
2020年10月入会

アクションプラン
年間フレーム



COMMITTEE MEMBERS

2025年度 委員会メンバー

VISIONARY COMMITTEE

ビジョナリー 委員会

委員長
大谷 翼

株式会社LIGACADEMY
2021年5月入会



石戸 浩貴
石戸産業㈱
2022年6月入会



岩下 智博
㈱福岡中央銀行
2023年4月入会



大竹 正史
LOCA99
2024年4月入会



大野 恭介
CLUB ELFIN
2022年8月入会



岡松 侑希
㈱みゆき
ストロベリーファーム
2023年3月入会



荻原 優太
株式会社Step
2023年12月入会



笠置 一星
㈱笠置建工
2020年4月入会



桑原 宏輔
坂本医院
2024年9月入会



敷田 時丸
福岡観光バス㈱
2019年8月入会



柴田 大地
肉風俗 裏道
2023年7月入会



竹下虎之介
㈱日本ダスタービス
2023年9月入会



鶴原 賢
鶴原液化ガス㈱
2018年7月入会



西野 晃弘
(医) ユーアイ
西野病院
2022年12月入会



能登 洋晃
㈱かいた
環境開発工業
2016年11月入会



藤川 聡
BoschCarService
藤川自動車㈱
2017年7月入会



矢野 英介
中華そば麺すけ
2021年11月入会



吉浦 大貴
㈱西日本シティ銀行
飯塚支店
2023年4月入会



吉田 愛仁
㈱JIN
2023年3月入会



副委員長
瀬戸 繁貴

SHY㈱
2022年12月入会



副委員長
西岡 輝

友信建設㈱
2022年12月入会

アクションプラン
年間フレーム



KAIINKAKUDAI COMMITTEE

会員拡大 委員会



秋吉 宏徳
館処のり助
2023年8月入会



澤田 聖士
スタートアップ
ポップコーン㈱
2024年4月入会



白水 章文
飯塚みらい歯科
2023年8月入会



長沼 信勝
友栄土木㈱
2024年7月入会



春口 真子
Riv.hair
2024年4月入会



伏屋 和将
明治安田
生命保険(相)
2022年1月入会



山崎 大
㈱きど葬祭
2022年4月入会



渡辺 紘一郎
(福) 嘉穂郡
社会福祉協会
2018年4月入会

委員長
井上 詠貴

ソニー生命保険㈱
2024年6月入会



副委員長
田中 亮平

㈱片島屋
2019年8月入会



副委員長
渡邊 雄志

㈱渡邊硝子建材
2023年5月入会

アクションプラン
年間フレーム



台東交流事業50年のあゆみ

since 1975

History 2016

2016年台東交流では、九份へ赴き観光を楽しんだ後台東市長へ表敬訪問を行い、台東青年会議所会長交代式という貴重な場へ参列させて頂きました。



History 2017

2017年台東交流では、飯塚の地へ来て頂き、「陶芸体験」「茶道体験」を行いました。その後情報交流会及び懇親会を開催し多くの方々との意見交流を行い、有意義な時間を過ごすことができました。



History 2018

2018年台東交流では飯塚の地へ来て頂き、山笠体験、ボーリング大会を行いました。JCI飯塚65周年記念式典にて姉妹結35周年調印式を執り行いました。



History 2023

2023年台東交流では本町商店街にて開催された「いづか街道祭り」へ時代仮装行列に参列し、勝盛公園にかつて行った記念植樹の前にて記念撮影を行い、今後の両JCの友好関係が未永く続くことを祈願しました。



今年の台東事業では、
交流事業の歴史や台東の街について
会員が学べる場を設けながら、
会員・シニア以外の地域の
皆さんも巻き込み、お互いの地域に
根ざした関係につながるような
交流企画を目指します！

アクションプラン
年間フレーム



常任理事
嶋田 吉朗

JCI TAITUNG

2024年度台東國際青年商會訪問事業



MEMBER
01



小林 奈々
kobayashi nana

台東JCとの交流の意義を深く理解する事ができた3日間でした。台東メンバーの温かいおもてなしのおかげで、国境と言葉の壁を越

えた永遠の友情を育む事ができました。JCには国際的なネットワークがあります。この姉妹JCとの国際交流を通じてJCIの価値を是非メンバーにも一度でいいので感じて頂きたいです。

自分の人生観を変える素晴らしい経験ができる事でしょう。

企画してくれた栗原君本当にありがとうございました😊

MEMBER
02



栗原 一喜
kurihara kazuki

非常に強い台風21号が台湾に向かう中、11月1日から2泊3日で小林専務、尾方副理事長、春口委員長、私の4名で計画通りに台東に訪問することができました。台北から

台東に移動する際、倒木や冠水、交通機関への影響があり被害が大きかったことを感じました。そのような中、王會長をはじめとする多くの台東JCの現役、シニアの方々に温かく受け入れて頂きました。

現地では諸先輩方と台東JCメンバーの過去の交流のお話や写真を拝見し、多くの貴重な体験をさせて頂きました。諸先輩方が紡いでこられた台東JCとの友情関係を改めて肌で感じ、この関係を大切に引き継いでいきたいと思いました。(食べ過ぎ、飲み過ぎ、大変でした。)

MEMBER
03



尾方 佑輔
ogata yusuke

私は、3日間台東に行き、台東國際青年商会のシニア・現役メンバーの皆様との交流を通じて、心に残る貴重な経験をさせて頂きました。まず、台東についての初日から夜遅い時間にも関わらず多くのメンバーの方に来て

頂くなど、台東國際青年商会の皆様の温かいおもてなしには心から感動しました。私たちが家族のように迎え入れてくれ、寝る以外の全ての時間を細やかな気配りと熱心な案内で、台東の魅力を存分に体験させて頂きました。また、美味しい台湾料理の数々を通じて、食文化の豊かさも堪能し、先住民族の伝統文化や歴史に触れる機会があり、台東の地域性に触れることができました。この経験を通じて、国際交流の真の意義を肌で感じる事ができ、49年続く絆の深さを改めて実感しました。今回の経験を通じて得た学びと感動を、飯塚JCメンバーにしっかりと伝え、来年は私たちが台東JCメンバーの皆様を飯塚JC全体でおもてなしをしていかなければならないと強く思いました。この経験を糧に、今後も両会の友好関係の発展に尽力していきたいと思ひます。

MEMBER
04



春口 真子
haruguchi mako

私は、初めて台東へ行きました。まず、台東國際青年商会のシニア・現役メンバーの皆様が大きく歓迎してくださり、3日間とても親切にして頂いたと同時に台東の文化

や食に触れながら楽しく台東の魅力を実感しました。台東メンバーの皆様は飯塚JCメンバーを家族のように接してくれて、今年入会し初めての交流で緊張していましたが、優しく楽しくしてくれて本当に台東へ行って良かったと心より思いました。この経験を通じて、国際交流の真の意義を知れて、49年続く絆の深さを改めて感じました。

この経験や体験を飯塚JCメンバーにたくさん伝えていき、これから先台東メンバーとの絆をより深めていきたいです。飯塚メンバーが台東メンバーにたくさんのおもてなしをしていきたいと思いました。この経験や体験をわたし自身台東での交流は最高にいいものとなりました。

CLUB ACTIVITIES

飯塚青年会議所
部活動紹介



Golf

じゃがいもクラブ(ゴルフ部)

じゃがいもクラブってなに?と思われる方もいるかと思いますが、2024年度のじゃがいも会はゴルフというスポーツを通じて現役会員、OB会員との「交流」をメインに活動しています。ただゴルフをするだけでなく、その後の懇親会を設け、メンバー間での交流を深まるような企画・運営をしています。また、西日本大会等も行っていますので腕に自信のある方も奮ってご参加ください。

Football



サッカー部

サッカー部は経験者だけでなく、未経験の方も多く在籍しています!サッカーというスポーツを通じて楽しみながら交流を深め、活動しております!また、チームには現役だけでなく卒業された先輩方も多くいるため、コミュニティの一つとしても魅力的です!大会成績としては福岡大会や九州地区大会では優勝経験もあり、最高のチームです!サッカー部では、サッカー経験者、未経験者でも大歓迎です!そのあなた!一緒にサッカーやりましょう!





Baseball

野球部

野球部では経験者だけでなく野球をしたことのない未経験者も含めて現在21名程在籍しています。普段のJC活動以外でも部活動を通じて交流を深めることができるのも部活動の大きな魅力だと思います。毎年、第2エリア(宗像JC、直方JC、田川JC)の4LOMで野球大会が開催され、エリア大会で勝ち上がっていくと、福岡ブロック大会、九州エリア大会、全国大会に繋がります。2024年度は第2エリア大会で優勝し、福岡ブロック大会まで進出しました。野球部では、日々の運動不足を解消したい方や昔野球してたけど久しぶりにやりたくなった方等々、経験者、未経験者を一切問わず新メンバーを絶賛募集中です。私たちと一緒に野球を通じて楽しく交流を深めてみませんか?メンバー一同皆様のご参加お待ちしております!



Tea Ceremony

飯塚青松会(茶道部)

飯塚青松会は平成28年に発会し、本年で10周年の節目の年を迎えます。茶道を通じ青年経済人としての礼儀や姿勢・作法を学び、初釜、花見茶会、茶碗作りや毎月のお稽古など活動を行っております。飯塚青年会議所OBの方もメンバーとして活動しております。本年は10周年記念事業を開催予定なので、多くのメンバーで盛り上げて行きたいです。



03

本河 実平

『人生の道』

人それぞれ入会の理由は違うと思います。僕は生まれ育ったこの飯塚に何かしらの恩返しが出来ればという想いで入会しました。この11年で様々な役職、出向などさせて頂き、色々な人と出逢い、普段の生活ではできない経験をさせて頂きました。何かを成し得るためには、努力が必要で、達成するためには人の協力が無いとできません。何事にも変え難いこの経験は青年会議所だからこそできると思います。今しかできない経験がここにはあります。自分の道を掴み取るため頑張りました。



02

多賀谷 勇気

『成』

JCは様々な機会を通じて、成り上がることも成り下がることも自分自身で選択することが出来ます。何かに成る為には進むしかありません。前進なくして何かに成る事はもちろん機会をあらけません。背中を押される人間になって下さい。そして誰かの背中を押してあげられる人間になってください。



01

麻生 将豊

『道場』

飯塚青年会議所は、一人一人が独立し、それぞれの個性がぶつかり合い、お互いに磨き合うLOMであり続けて欲しいと思います。近年、そう言ったことが薄れ非常に残念ですが、是非その意識を改めて持って、飯塚青年会議所がさらに輝かしい歴史を刻み続けることを心から願います。

青年会議所を一言で表すと？

Graduate Member's Voice

2024年度 卒業生の声



06

原中 茂雄

『大人の学校』

今までこれと言って勉強に励んだ事もなく、何かについて深く考えたこともなく、ただただ毎日を生きていました。しかし、飯塚青年会議所に入り色々な理事の役職をさせて頂きましたが、全ての役職において学び考えさせられたと思っています。そのおかげで、人生が100倍楽しくなったと思います。一生の友達もできました。



05

前田 美紀

『感』

青年会議所は、各々の責任感とメンバーの一体感で構築されると考えます。さまざまな経験を重ね新しい感覚を磨くことで感性を養い、感銘を受ける出逢い、感化される出逢いに数多く恵まれる、それがJCの魅力のひとつです。



04

野村 昇平

『成長の場』

入会前後の自分を俯瞰的に見てみると、いち社会人として明らかに能力に差があると思っています。もし入会していなかったら今の自分はいないと断言できますし、私をここまで成長させてくれたJCという組織には本当に感謝しかありません。

NewMember's Voice

2024年度は13名の新メンバーが入会!!

MEMBER

01



嶋田 吉朗

shimada kichiro

入会前に社会学の研究者としてJCを事例にした論文等を執筆し、JCIクリードなどの理念にとても共感してきました。一方で、自分が入会となると、これまで垣間見ていた熱心な会員

の方々のタフな動きについていけるだろうかと不安もありました。しかし、内側からもJCを知りたいという気持ちと、少しでも研究の恩返しをという気持ちで、思い切って入会を決めました。スケジュール調整など大変なことも多いですが、会の真剣な雰囲気に触れる度、いかに飯塚JCが地域にとって重要なことを再認識しています。会員として自らも成長できるよう頑張りたいと思います。

MEMBER

02



春口 真子

haruguchi mako

私はJCに入会して間もない中、委員長という役職を担いました。まず何をしていこうかと悩んでいたところに先輩方から色んな経験と体験を

学び、みんなで1つのものを作り上げる喜びを知りました。そして地域の為に運動、活動をする中で自己成長へと繋がりました。この経験はJCだからこそできることだと感じました。みなさんも一緒に地域に貢献していきましょう!

MEMBER

03



白尾 怜史

shirao reiji

飯塚JCに入会して半年が過ぎました。入会当初は、余裕のある時に例会や委員会に出席して、卒業しようという気持ちで入会しました。しかし、少しずつ活動に参加するうちに自分の気持ちに変化が生まれ、もっと先輩方や仲間

のことを知りたい、もっと色々な事を学びたいと思い始めました。また飯塚JCが関わる地域をより良くしようと活動することは、素晴らしい事だと共感しました。今後もできる限りJCの活動に参加をすることで、残り少ないJCの時間を多くの方々と共有して、自分の成長につなげていきたいと思っています。

MEMBER

04



桑原 宏輔

kuwahara kousuke

飯塚青年会議所に入会し数か月が経ちます。私は地域医療に携わりながら、日々多くの方々の健康を支えていくよう研鑽を積んでいます。しかし、診療所の中だけでなく、地域全体の健康や生活等をどのように支えていくかという場面に直面する

ことが増えてきました。そんな時、飯塚青年会議所の活動に出会い、地域を支える一員として、医療の枠を超えた貢献ができるのではないかと感じ、入会を決意しました。飯塚青年会議所は、地域の発展や社会貢献に情熱を持つ多くの方々が集まる場であり、その活気と志に大変刺激を受けています。専門性を活かしながらも、新しい視点や知識を得て、地域全体の課題を知り、解決に向けて行動していけることを楽しみにしています。これからの活動を通じて、多くの方々と連携し、できた縁を大切にしながら地域の未来に貢献できるよう研鑽を積み重ねていきたいと思います。

MEMBER

05



田村 透

tamura toru

私が飯塚JCに入会した理由は、仕事以外に何か地域に役立つ事ができないかと考えていたタイミングでお声が掛かり、渡りに船と思い入会させていただきました。入会して多くの

異業種メンバーと接し交流できることはもちろん、地域をより盛り上げるといふ共通認識のもと全力で事業に取り組む姿勢、例会イベント等での諸先輩方や地域の方々との交流、一人ではできない様々なことを多くの仲間と体験でき挑戦できそして行動・運動を起こせる、と感じました。このような貴重な経験ができる場所で、己を高め周囲と切磋琢磨していきながら地域貢献できる、飯塚JCはそういったチャンスのもとと考えています。

MEMBER

06



長沼 信勝

naganuma nobukatsu

青年会議所という組織とのご縁を頂戴してから、おかげさまで半年が経過しました。正直なところ、青年会議所という組織の全貌を把握したわけではないですし、行ってい

る活動の全てを知れたわけでもありません。半年経過しても、正直、このような状況ではありますが、入会当初から私は青年会議所で活動する上で、自分の軸としている想いがあります。「飯塚をもっと良くしたい、飯塚のためになることをしたい」というこの想いだけは忘れず、青年会議所という組織のスケールメリットやここで出会う方々との繋がりを活かし、これからもJC活動を行っていきたく考えています。



Action!

-仲間と共に-

このまちの未来を変えるために
一緒にアクションを起こそう!

一般社団法人飯塚青年会議所

仲間募集中

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本の一つには、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、厳しい経済情勢のなかにあっても力強いリーダーシップを発揮できる“人材”を“開発”することにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい!」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ち申し上げます。

対象者:飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの方であれば男女は問いません。
詳しくは下記一般社団法人飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。



Homepage



Facebook



Instagram

お問い合わせ先

〒820-0033 福岡県飯塚市徳前25番地 飯塚卸商協同組合会館2F TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471
E-mail info@iizuka-jc.com http://www.iizuka-jc.com/ 〈製作: 会員拡大室()〉